

令和4年5月21日

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

埼玉労働局長登録教習機関
一般財団法人江南クレーン教習所

令和2年冬より発生した新型コロナウイルスによる感染症の影響は2年経過した現在でも残っております。特に令和3年の夏に第5波が発生してしまったことにより例年では忙しいはずの7月から10月の時期の受講生数が落ち込んでしまった。

令和3年の7月には、賛否両論ありましたが東京オリンピックが開催されました。開催反対の意見が多い中での開催でしたが、いざ競技が始まると日本人選手の活躍を見るたびに希望を与えられたのか、開催に反対する意見は少なくなり応援する人の数が増えていったように思われました。冬には北京で冬季オリンピックが開催され、やはり日本人選手の活躍で気持ちが明るくなる場面も多かったのではないのでしょうか。しかしながら当所の収入の多くを占めるクレーン限定免許実技教習の落ち込みが大きくなってしまいました。フォークリフト、建設機械（整地等）技能講習については一年間を通し受講者数が少ない状況が続きました。秋には落ち着いていた感染者数が冬には第6波となって今までにない感染者数を出してしまい令和4年2月には一昨年の収入の36%減少と、苦しい状態となりました。2月には玉掛けの講習中に発熱者が出てしまい、クラスターの発生を防ぐため1日目の午後から講習を中止しました。受講生の皆様には後日予約を取り直していただいたり、講習料金の返金にも応じました。高原検査セット防護服などを購入し、危機管理マニュアルなどを作成し、発熱者などの対応の準備をしてきました。現在は新型コロナウイルスによる感染症の感染者数は、少しずつ減少傾向となっておりますが、来所者の検温と手の消毒、教室の机の食堂のテーブルの除菌作業などは現在も続けております。